

ヒメクラマゴケ

Selaginella heterostachys Bak.

イワヒバ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

分布域が狭く、個体数が少ない。(現況:RO)

形態

葉は黄緑色で、小さく、茎は地上を這う部分と孢子囊穂を付けて直立する部分からなる。

国内分布

本州、四国、九州。

県内分布

南加賀区。

生態など

常緑性の地表植物で、匍匐する茎は細く疎らに分枝し、直立茎は夏に出て晩秋には枯れ、このころ基部に匍匐茎を出して越冬する。繁殖は匍匐する茎と孢子による。孢子は夏に熟し、風で散布する。

生育環境

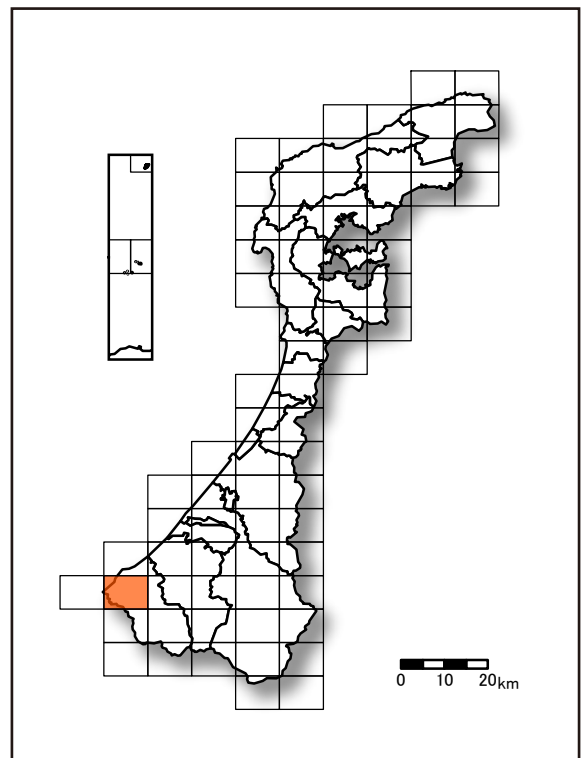
山野の路傍、林縁、崖地などに生育する。

危険要因

森林伐採、河川開発、動物食害、林道工事。



小野ふみゑ・2005年1月19日・加賀



県内の分布